

通信「ちえふる」3月号

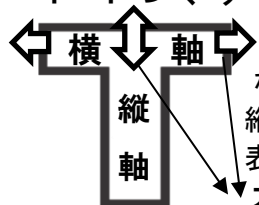


原晋(はらすすむ)監督の考え方に学ぶ

今や講演会の講師ランキング人気No.1とのお話もある青山学院大学の原晋監督は、第100回箱根駅伝(2024年)で、自校を2年ぶり7回目の総合優勝に導きました。その原監督が先日テレビに出演し、示唆に富む話をしていました。その話の中から3つの事を紹介します。



1 Tづくり



「横軸は、学校の勉強や人間関係、趣味など様々な場面で得られる知識や経験の習得を表している。縦軸は、人生の軸となる自分がやりたい事(夢)を表している。何からすべきかと言えば、横軸を広く大きく作ることから始める。文化でもスポーツでも芸術でも

政治でも経済でも、いろんな分野のことを学ぶ。そうするとある日突然、ふとわいてくるものが出て、縦軸=やりたい事(夢)につながっていく。もし、Jリーグを目指している人がサッカーで故障し、能力の格差もあって夢が破れ、この先不安ではないという人がいたとするなら、そう思うことはない。審判としてサッカー界に入ることもできる。あるいは、マスコミに就職して、テレビ中継でサッカーに関わることもできる。そのためにも横軸、いろいろな分野の知識を身につける。それもジュニア期に身につけておくことが必要。」と原監督は話している。

2 目標が妄想にすり替わっていることがある

「『目標が自分の本当の目標になっているか、自分を過大評価していないか、目標が妄想にすり替わっていないか』と、まず、

立ち返ることが必要。目標設定するにあたっては、己の力を考える。例えば『箱根で優勝します』と言っても、自分たちの力がないのに「優勝」が目標にはならない。それは妄想に過ぎない。目標設定は【半歩先】。ちょっと手を伸ばせば届きそうな目標を設定し、スモールステップで繰り返し繰り返しクリアして、達成していくことが大切だと思う。小さくても達成できるものを積み上げていくことが、成功への近道である。」

実績ある原監督の言葉には説得力があります。



3 原監督の格言

- ・今日のことは、今日やろう。明日はまた、明日やるべきことがある。
- ・今日は終わりです。次のステージに向けて頑張ればいい。くよくよしてもしょうがない。
- ・今日あった嫌なことをいつまでも引きずって立ち止まるのではなく、可能性の広がる明日やるべきことを考える。

常に前を向き続ける原監督の言葉に学びたいものです。

「新たなチャレンジに不安があったとしても、やりたいと思ったことが、誰かのためになることだったら、恐れずに一歩踏み出してみる。そういう視点で迷った時には楽しい方向へ。迷った時には人が喜ぶ方向へ。それを選択して頑張っていきたい。」というのが原監督の信念だそうです。ぜひ選択を迫られた時には、参考にしたい考え方だと思いました。



【お知らせ】

年度末・年度始めの開室時刻について



春休みに合わせて、平日の開室時刻を以下の期間中、午前9時にします。

◇3月25日(月)~4月5日(金)◇

【土日、祝日については、これまで通り9時開室】

学習支援室の情報についてはQRコードからもアクセスできますので、ご覧ください。

